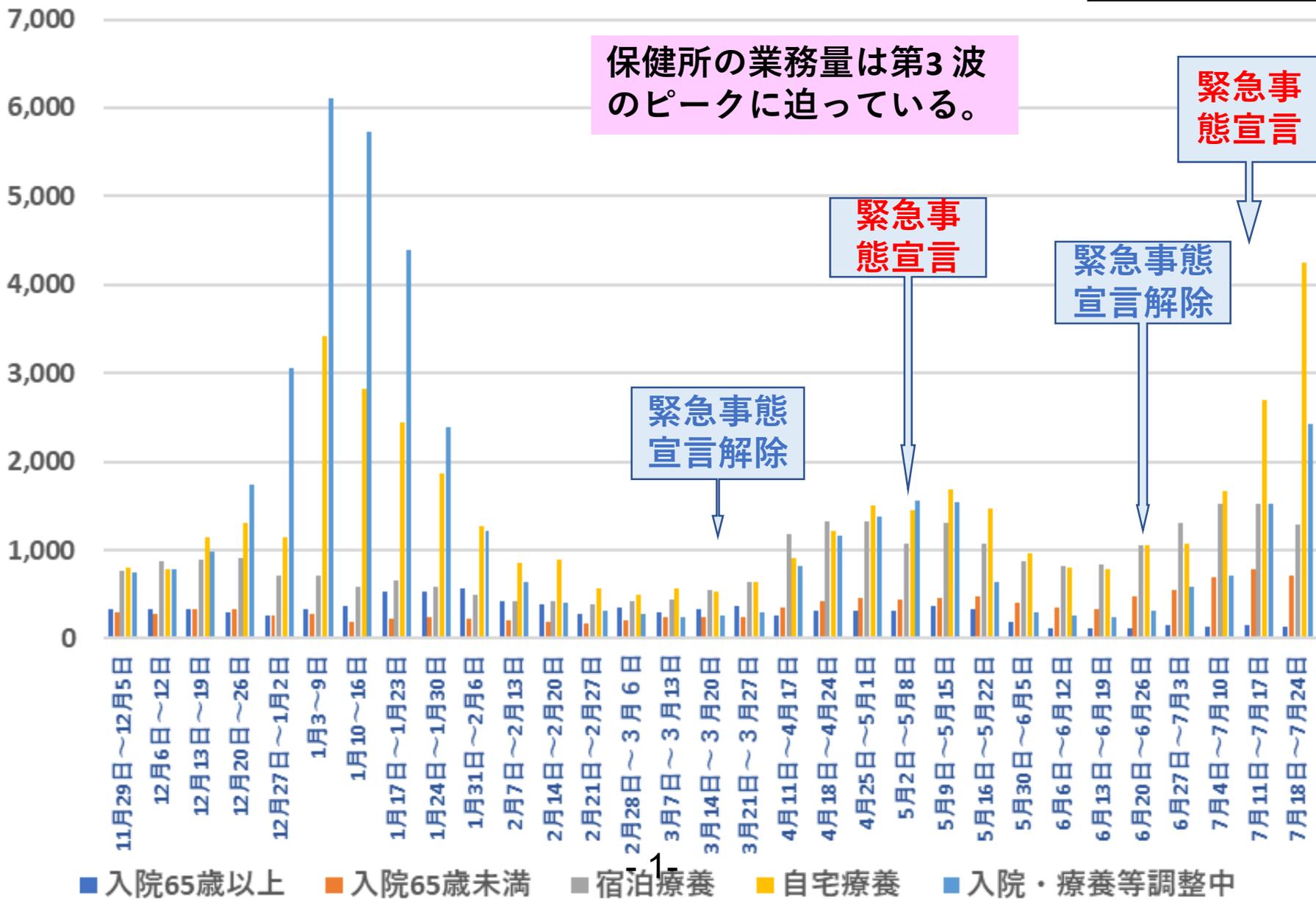


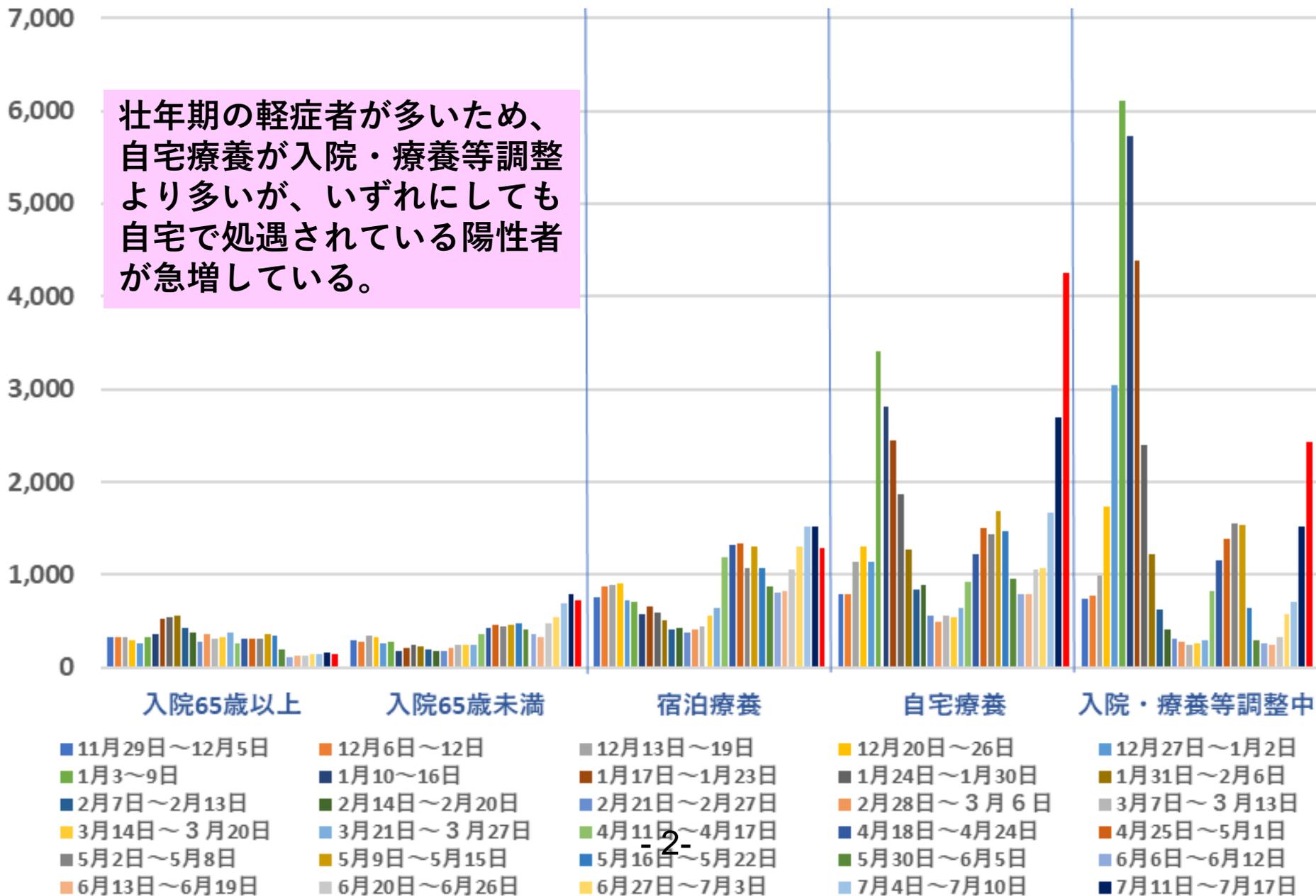
東京都内の陽性者の調整状況（時系列）

資料 3 - 6

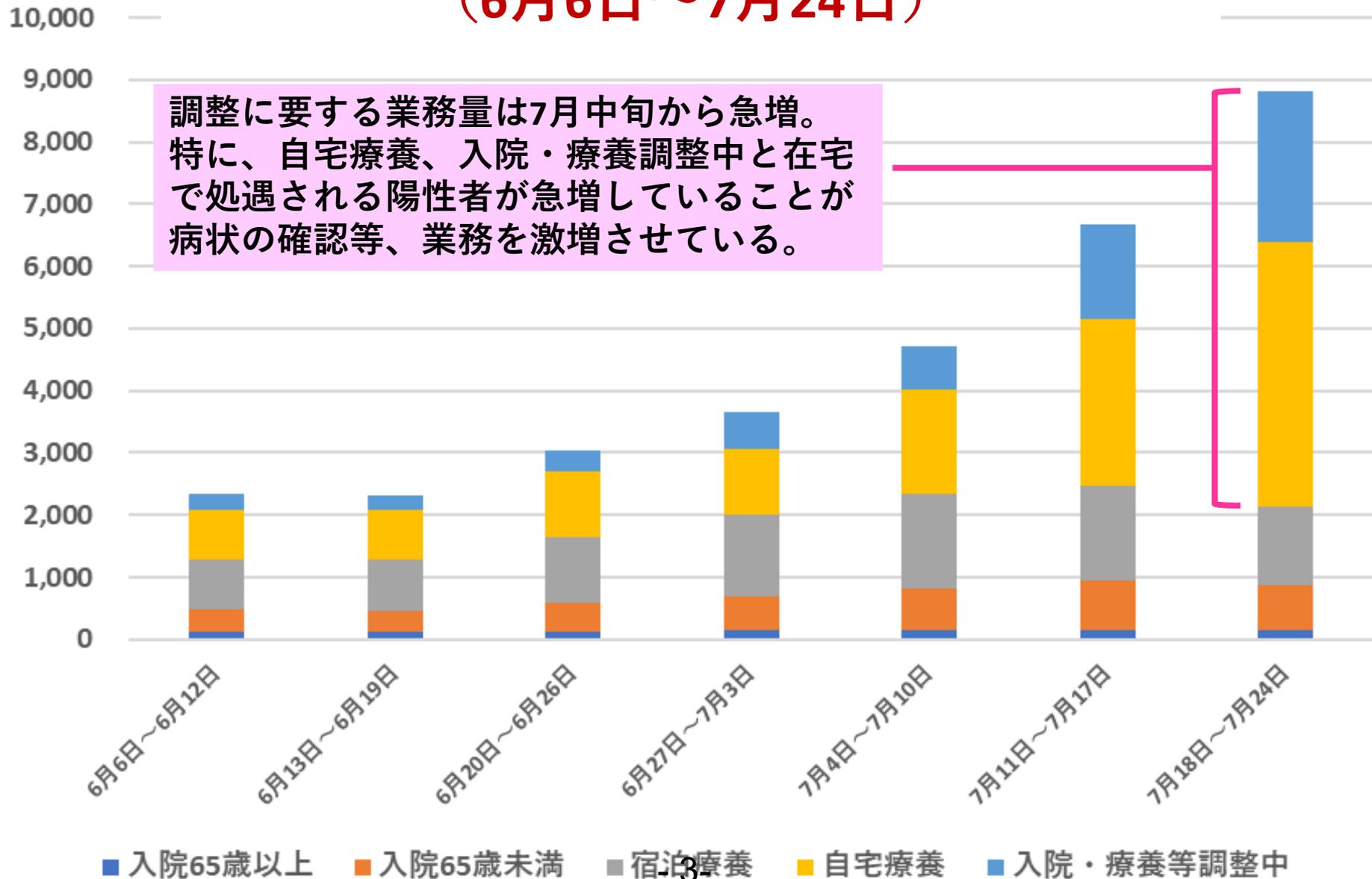


東京都内の陽性者の調整状況（処遇別）

壮年期の軽症者が多いため、自宅療養が入院・療養等調整より多いが、いずれにしても自宅で処遇されている陽性者が急増している。

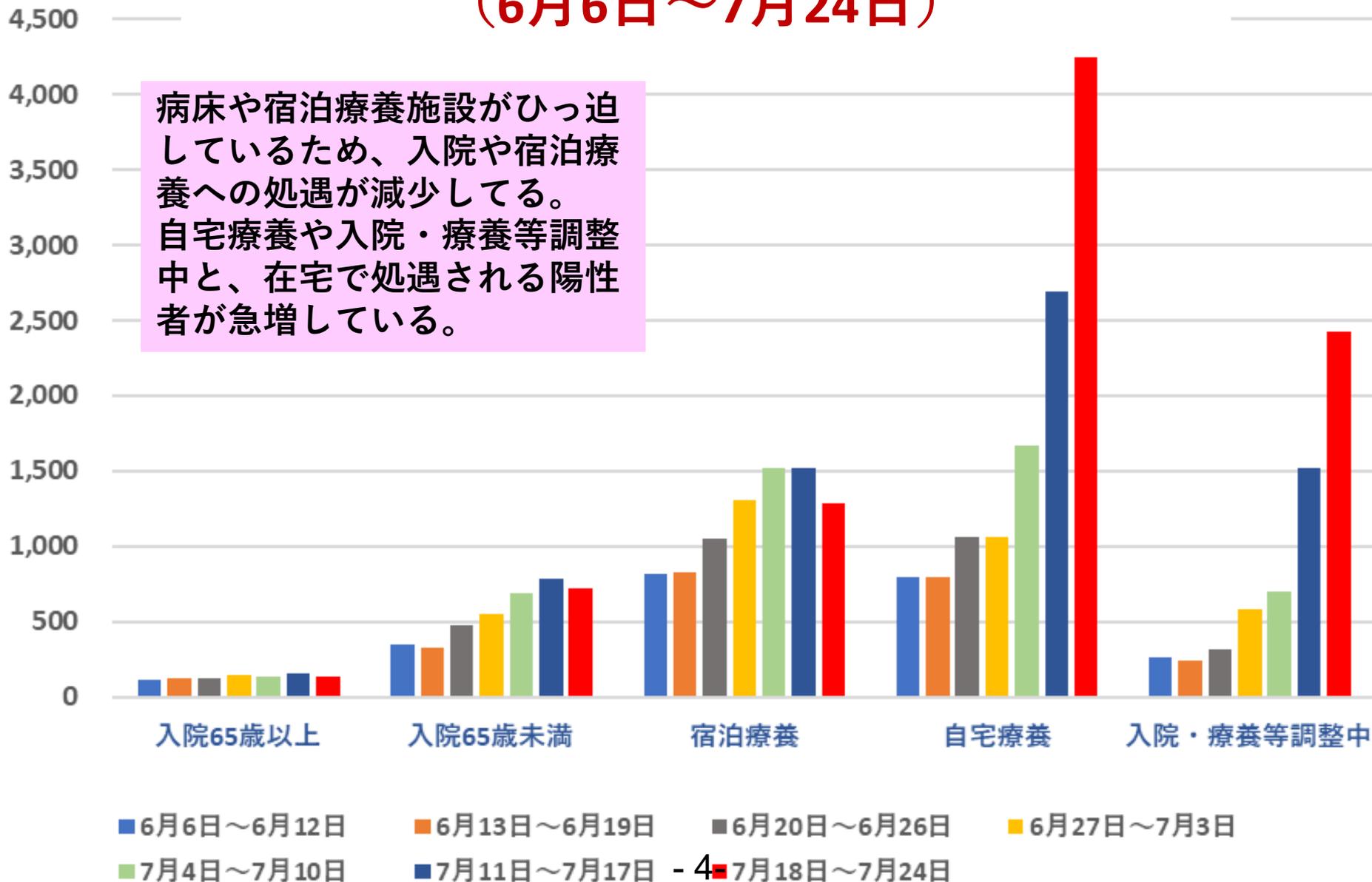


東京都内の陽性者の調整状況（時系列） （6月6日～7月24日）



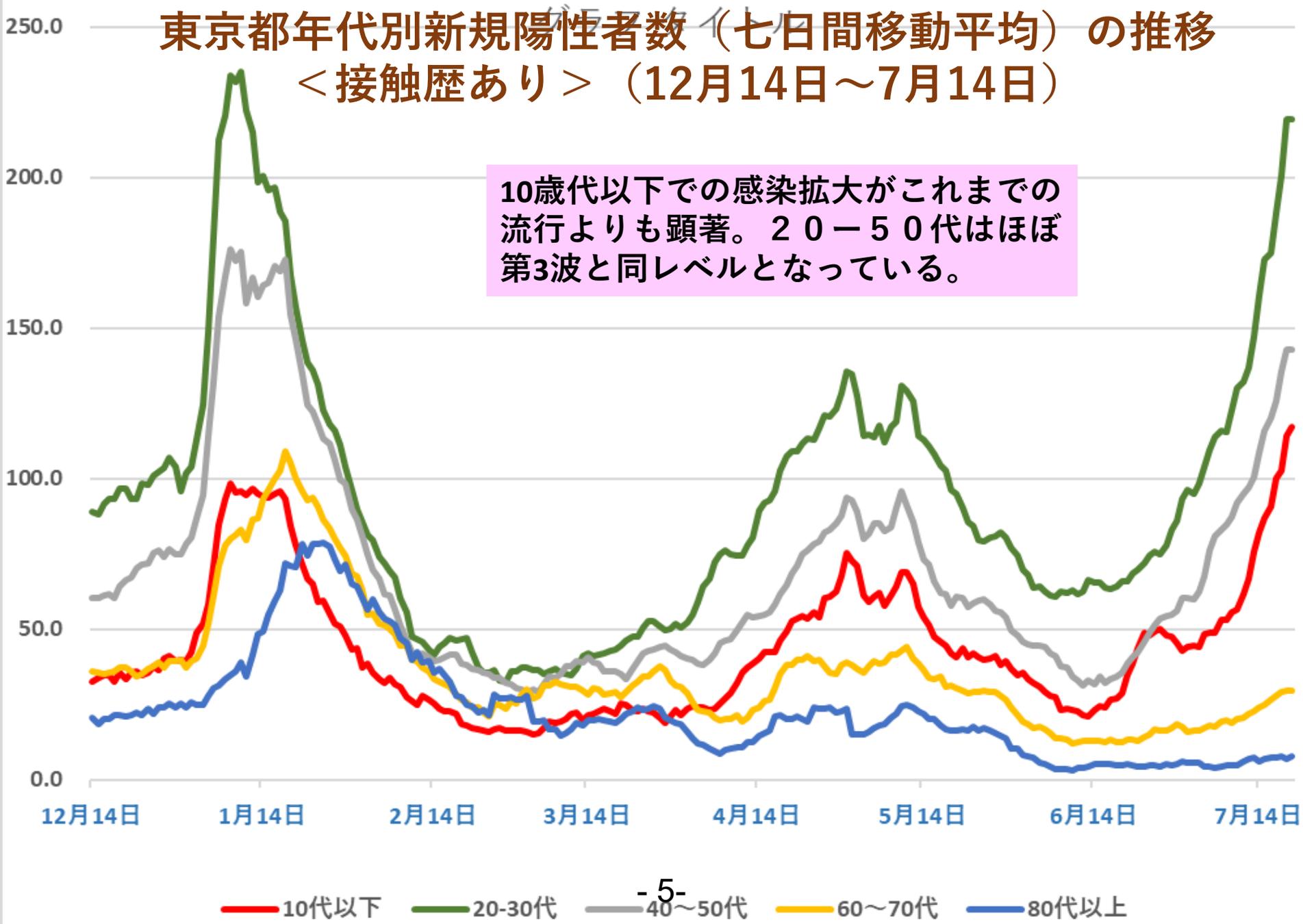
東京都内の陽性者の調整状況（処遇別） （6月6日～7月24日）

病床や宿泊療養施設がひっ迫しているため、入院や宿泊療養への処遇が減少してる。自宅療養や入院・療養等調整中と、在宅で処遇される陽性者が急増している。



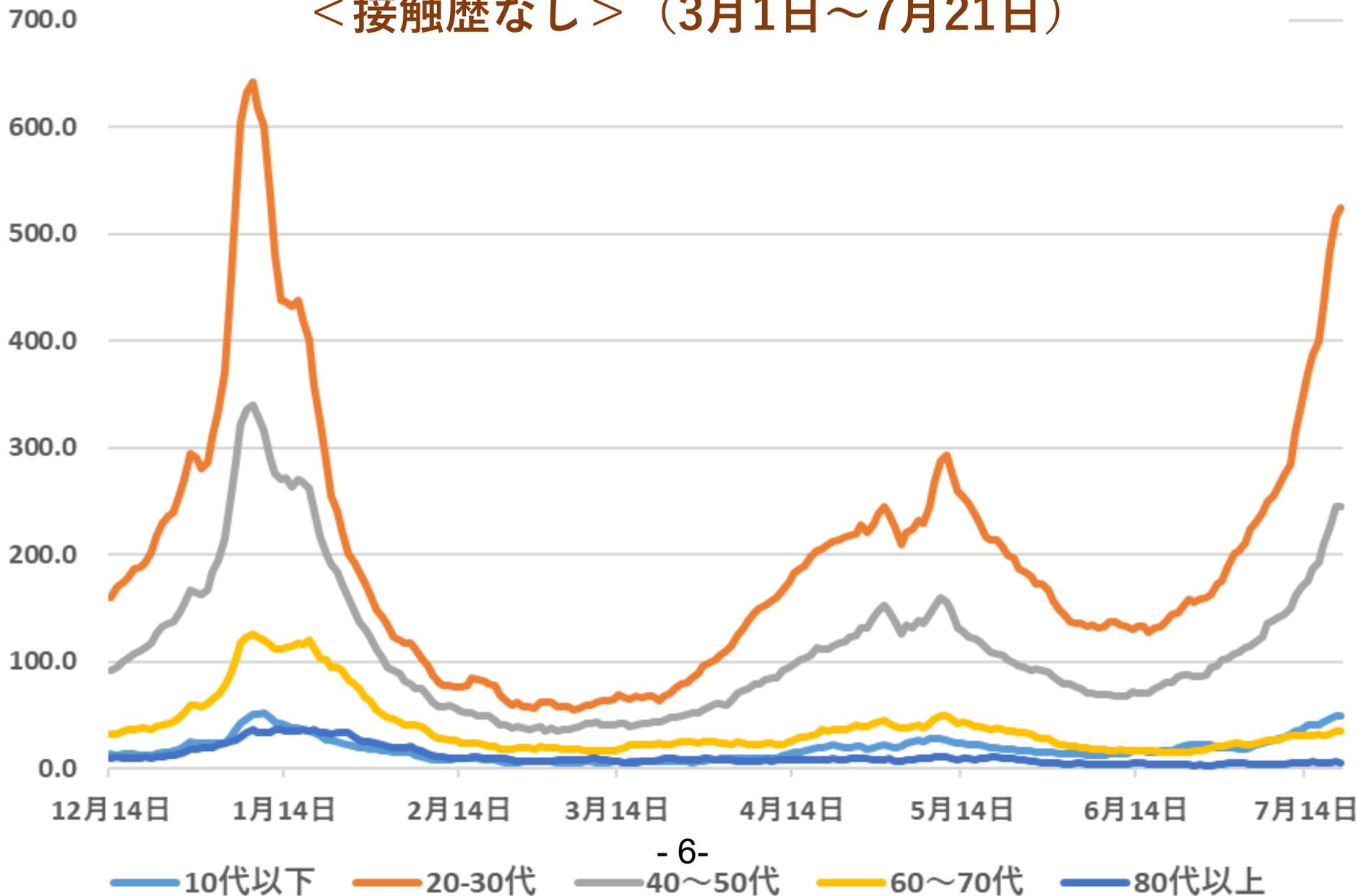
東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 ＜接触歴あり＞（12月14日～7月14日）

10歳代以下での感染拡大がこれまでの流行よりも顕著。20～50代はほぼ第3波と同レベルとなっている。



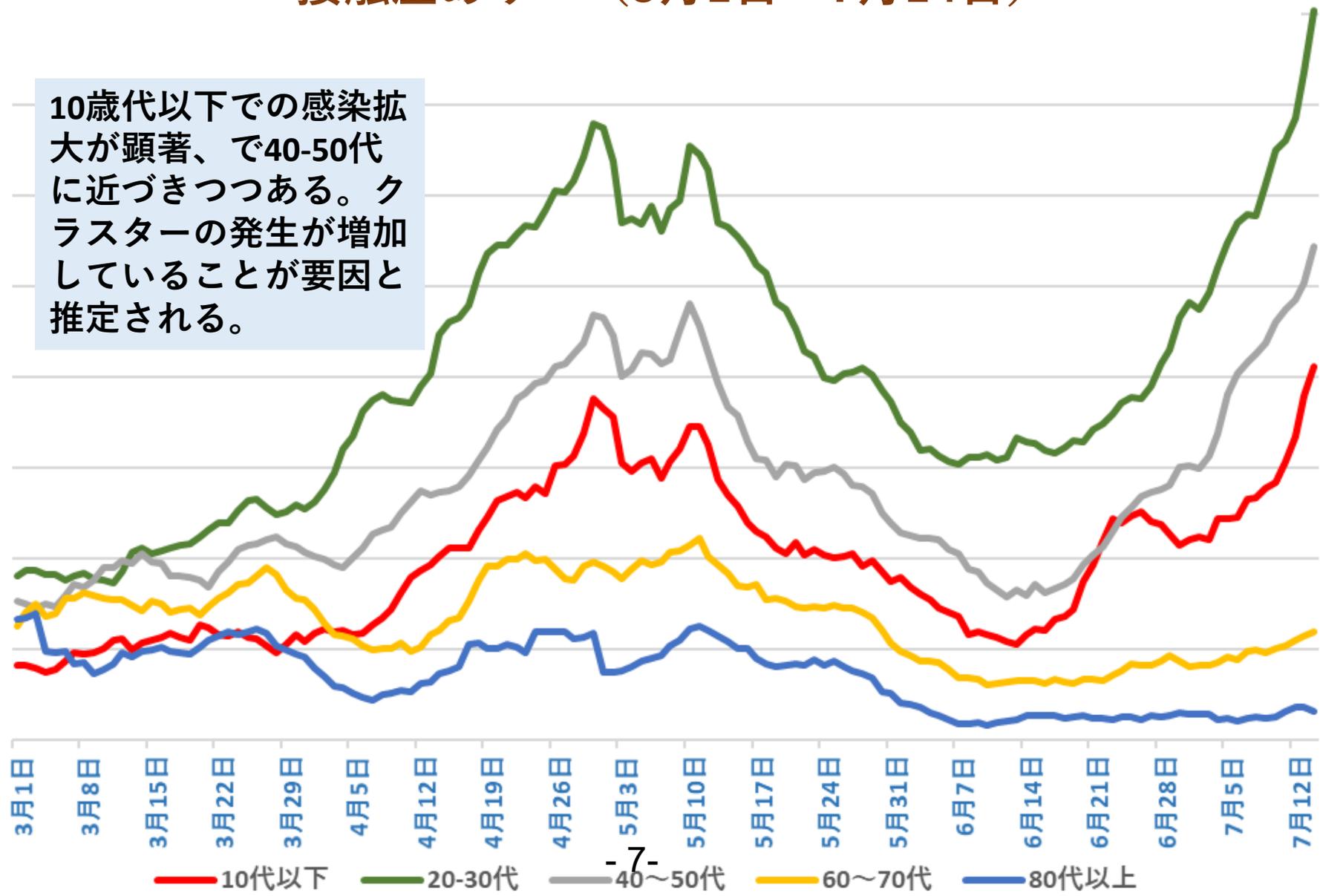
— 10代以下 — 20-30代 — 40~50代 — 60~70代 — 80代以上

東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 < 接触歴なし >（3月1日～7月21日）



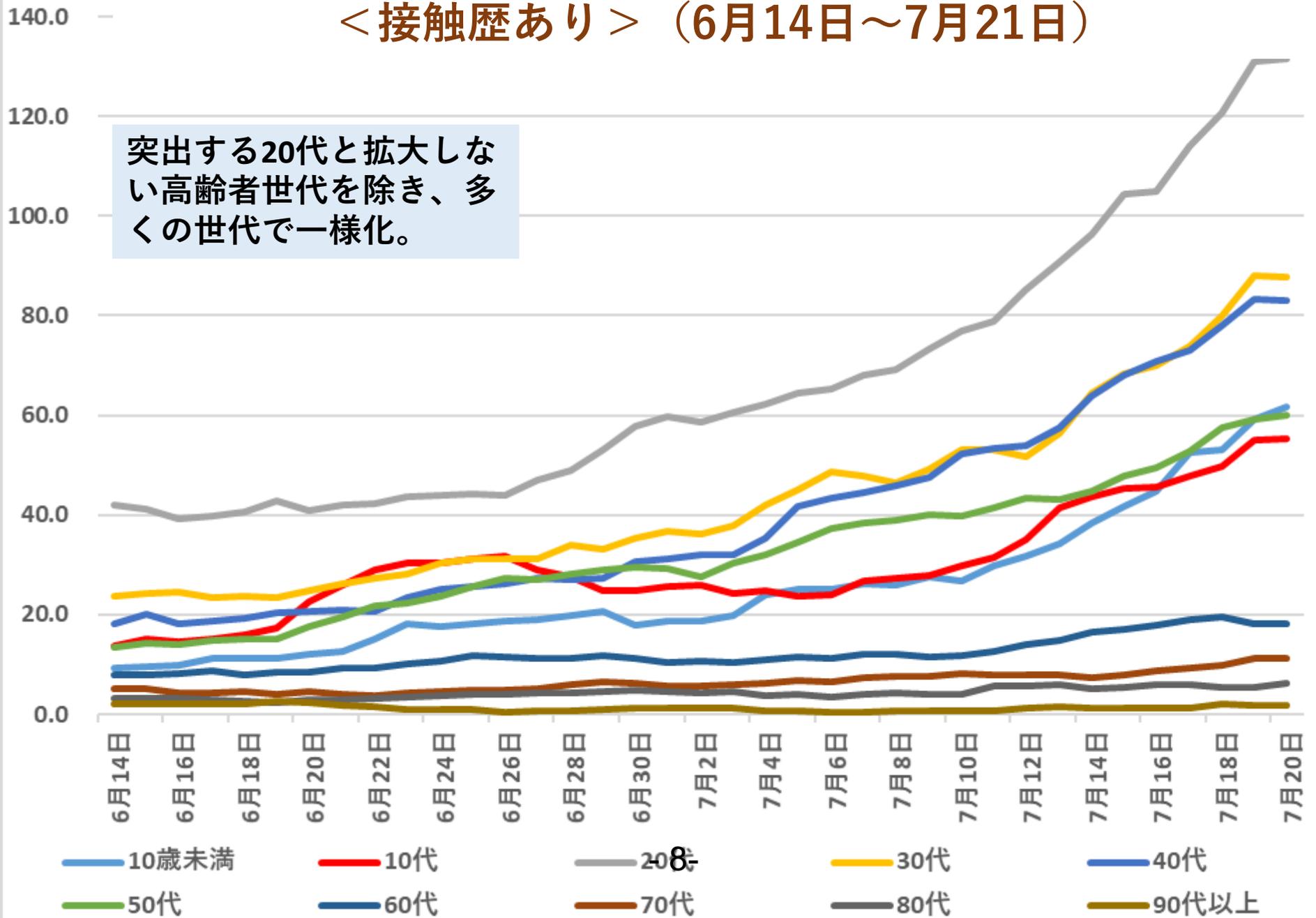
東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 ＜接触歴あり＞（3月1日～7月14日）

10歳代以下での感染拡大が顕著、で40-50代に近づきつつある。クラスターの発生が増加していることが要因と推定される。

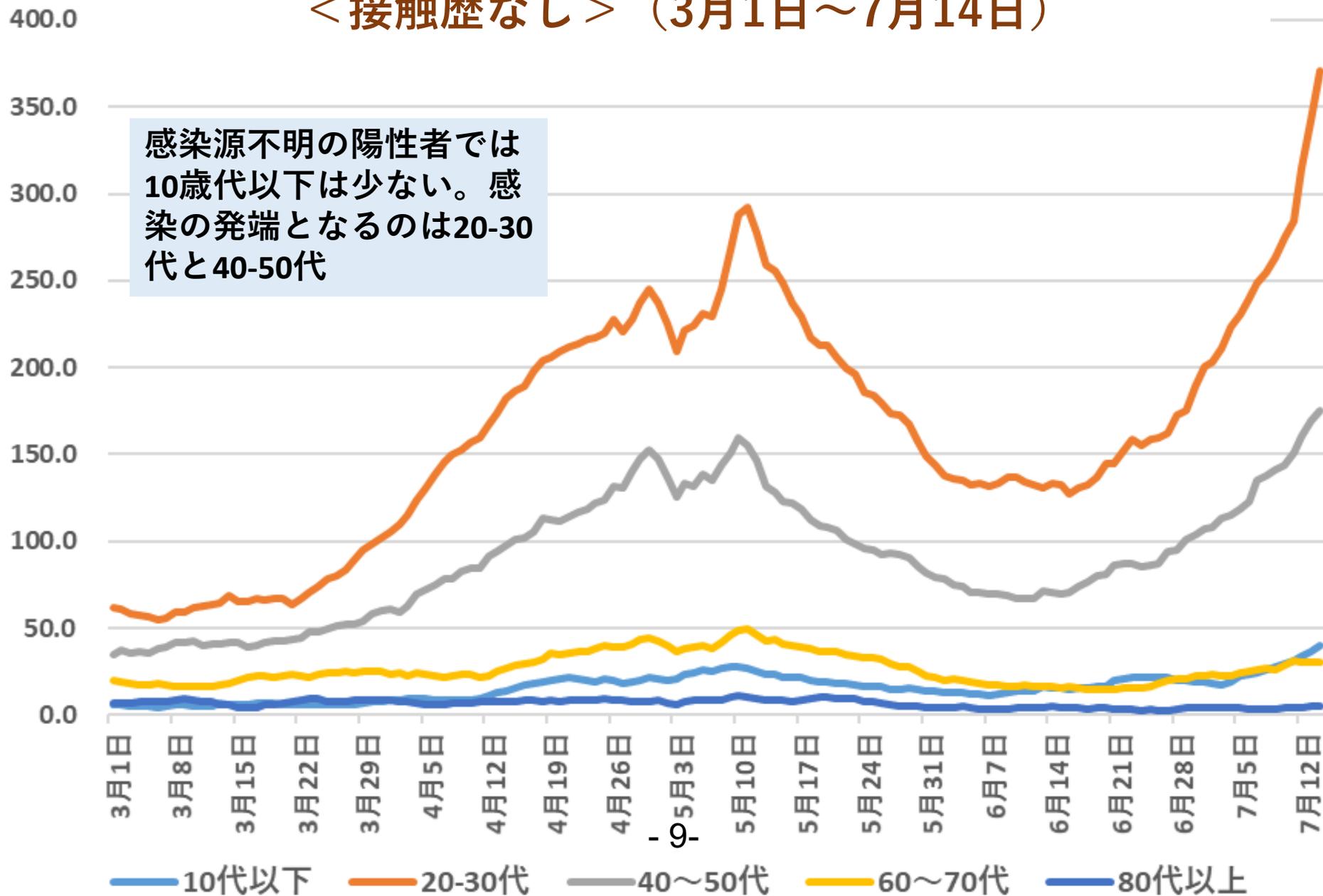


東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 ＜接触歴あり＞（6月14日～7月21日）

突出する20代と拡大しない高齢者世代を除き、多くの世代で一様化。

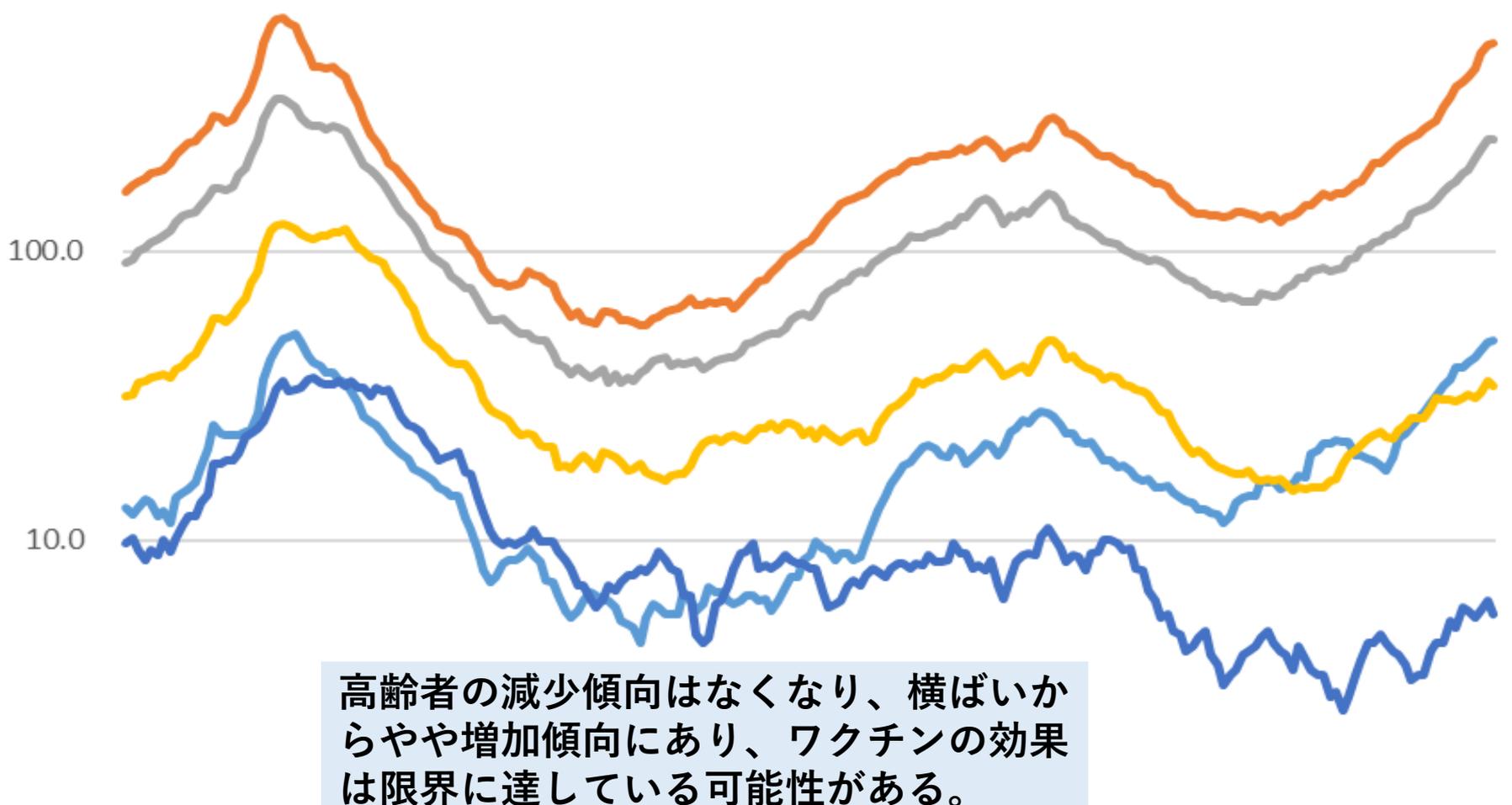


東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 ＜接触歴なし＞（3月1日～7月14日）



東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 ＜接触歴なし＞（3月1日～7月21日）対数グラフ

10



高齢者の減少傾向はなくなり、横ばいからやや増加傾向にあり、ワクチンの効果は限界に達している可能性がある。

12月14日 1月14日 2月14日 3月14日 4月14日 5月14日 6月14日 7月14日

10代以下 20-30代 40-50代 60-70代 80代以上

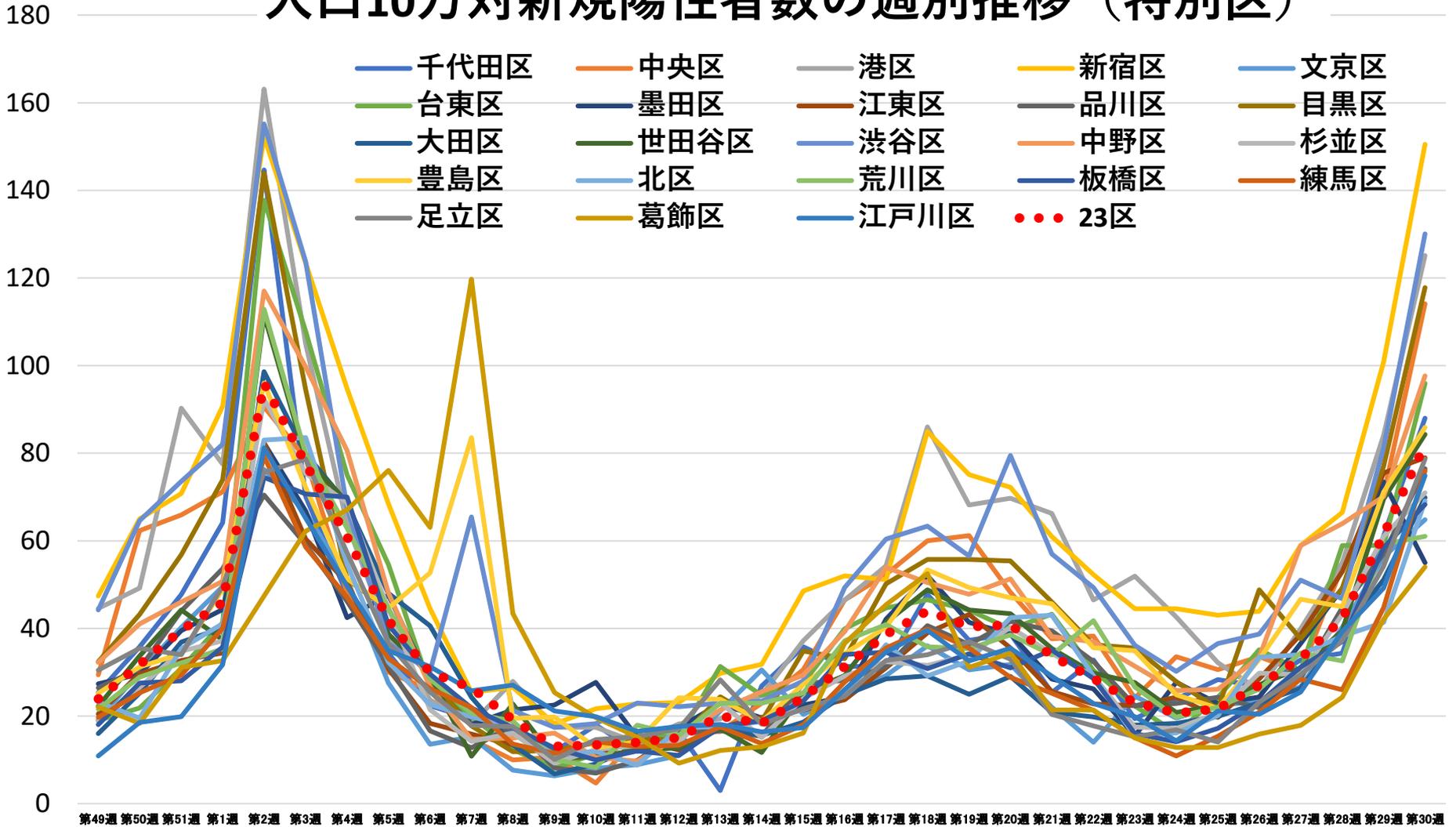
新型コロナウイルス感染症

東京都特別区発生状況分析 2021年2月～7月25日

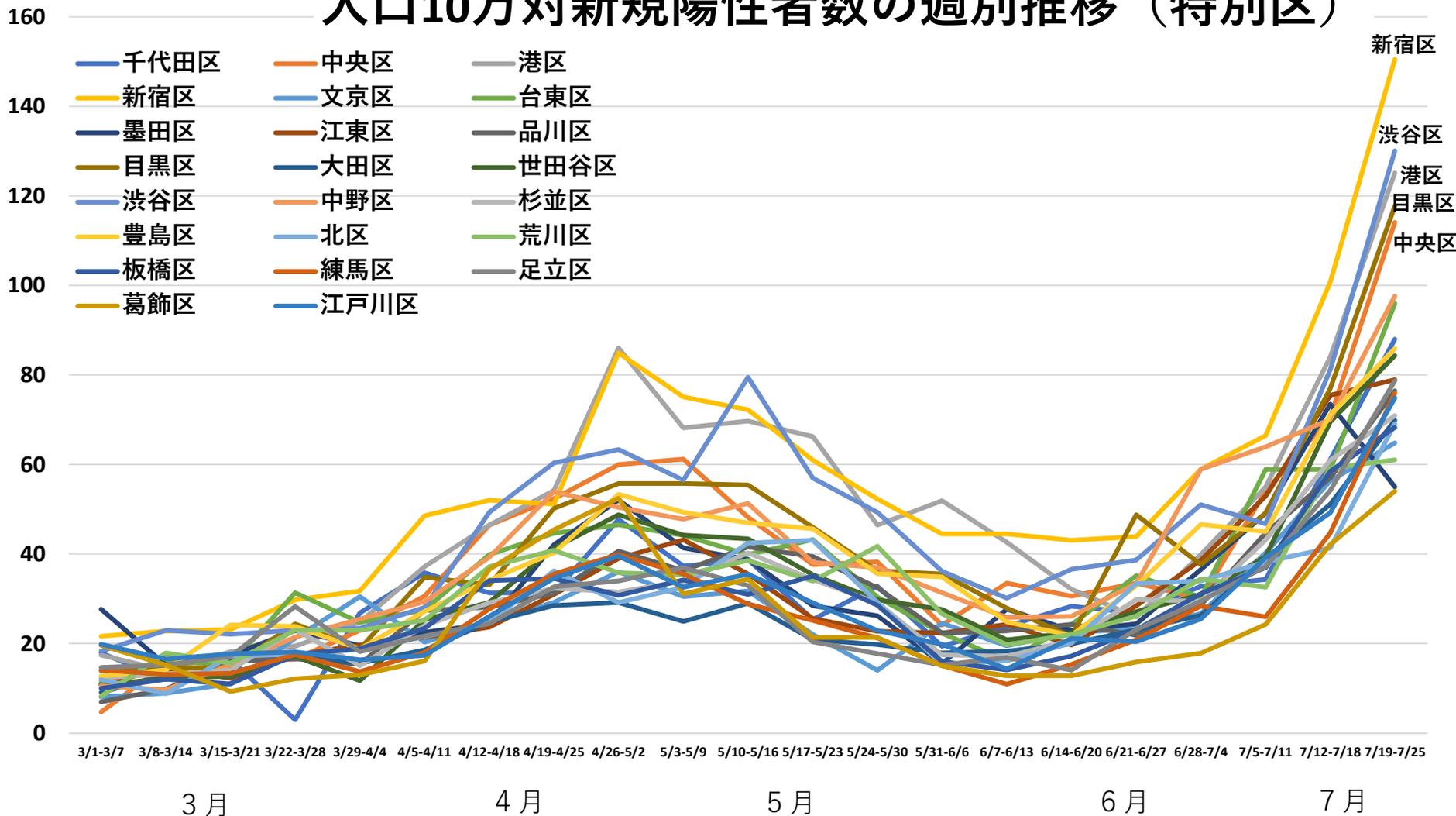
2021年7月28日

Supported by 帝京大学 北区保健所支援チーム

人口10万対新規陽性者数の週別推移（特別区）

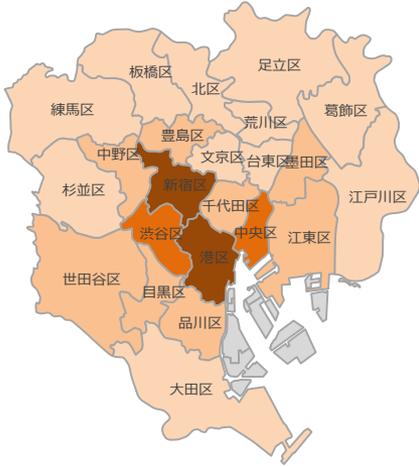


人口10万対新規陽性者数の週別推移（特別区）



区別人口10万対の新規陽性者数地図 第24～30週(6/7～7/25)

第24週



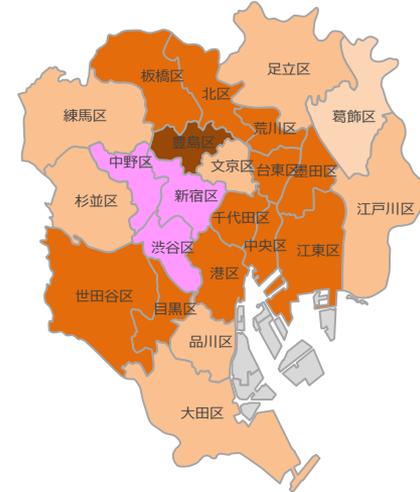
第25週



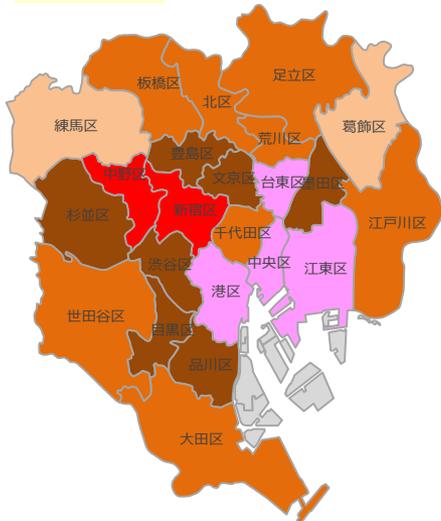
第26週



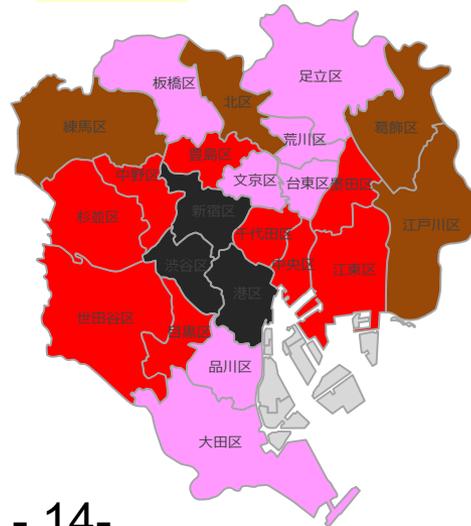
第27週



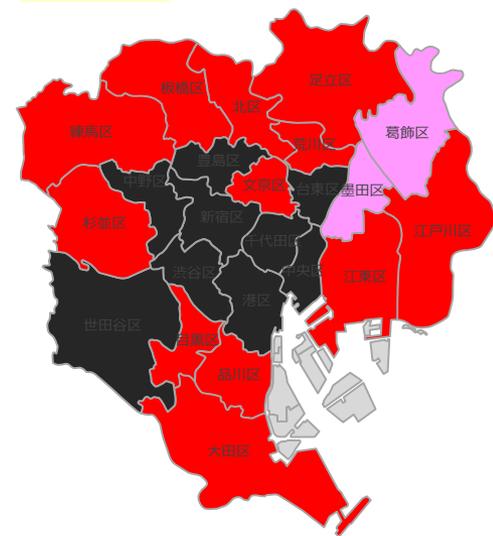
第28週



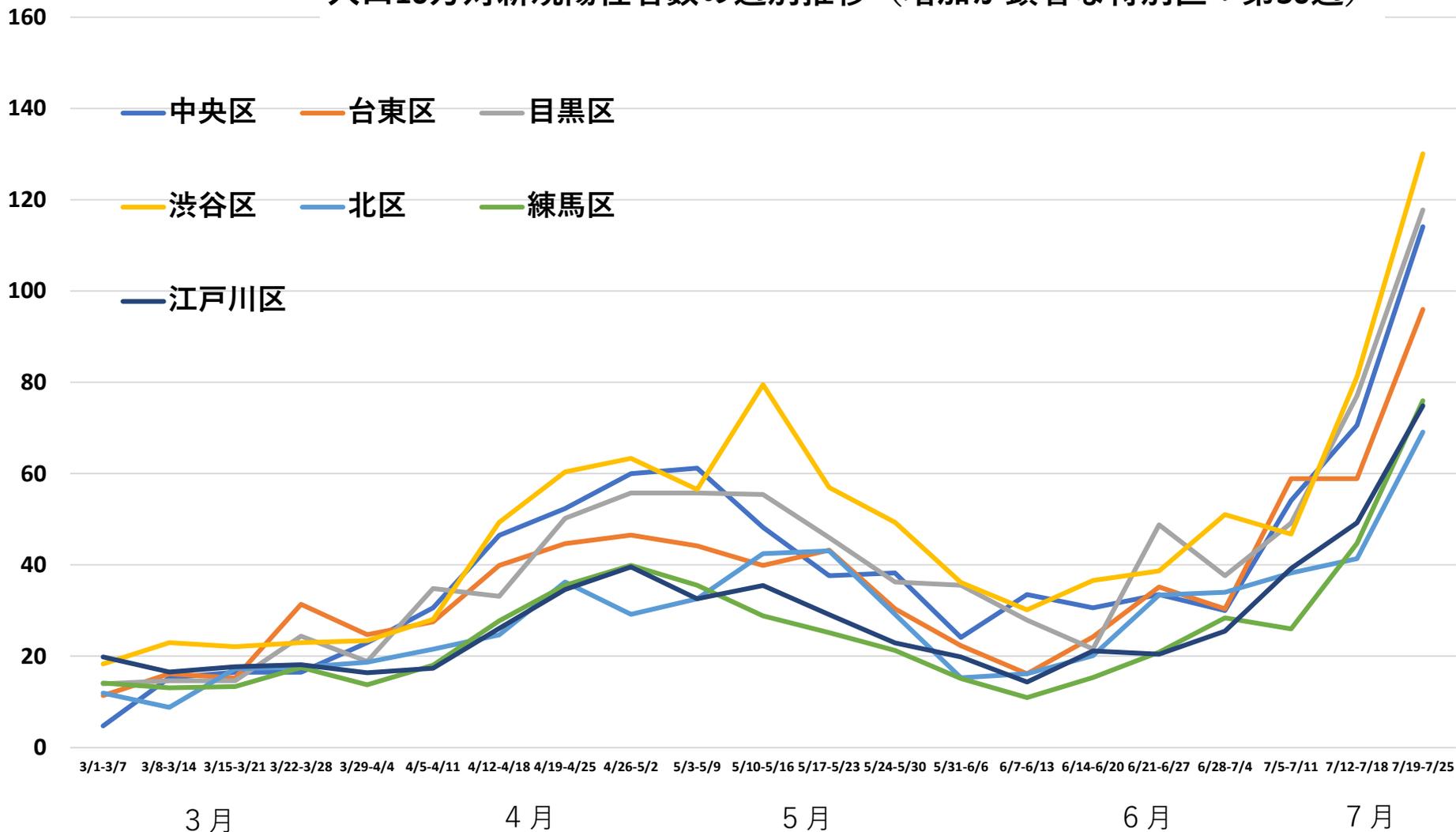
第29週



第30週



人口10万対新規陽性者数の週別推移（増加が顕著な特別区：第30週）



区別人口10万対の新規陽性者数の前週比(第29週と30週)

